

いせはら 観光ボランティア ガイド&ウォーク協会ニュース

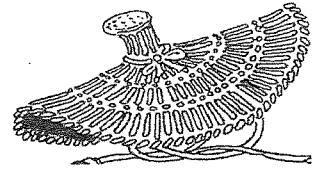
NO293 2023年3月22日発行

事務所・〒259-1126 伊勢原市沼目 5-28-6 鳥海方

電話&FAX. (0463) 94-6188 は 17:00 以降にお願い致します)



◎観光ボラホームページ <https://kankobora.amebaownd.com/>



☆ウォーク実施に関するお問い合わせ先：鳥海（電話番号は上記枠内）当日の朝 6：30 から 7：30 までをお願いします

曾我兄弟の里と下曾我の梅林 参加者 五十一名

二月十六日、御殿場線の下曾我駅前は参加者で賑やかだった。歩き始めると、中河原梅林越しに真つ白な富士山と箱根連山が目に入った。向上高校の前身跡を横目に瑞雲寺の境内に入ると地元の小学生らが枝垂れ梅の写生をしていた。五郎の沓石に踏んだ足跡に興味をそそいだ。次は曾我兄弟の本場城前寺である。本堂裏に曾我城の土塁と思われる、こんもりとした所に、兄弟と両親の墓があった。可愛い兄弟の像が置かれていた。幼名一万、と箱王が母から父の仇を討つのですと言われた頃のもので、次に、雄山荘は太宰治の小説「斜陽」の元になるもので、現在でも当時の塀が残されている。二宮尊徳遺髪塚と大山道の説明があり、満江屋敷跡

「別所公民館」で曾我兄弟が富士の裾野に向かう時に母から小袖を乞い受けた所です。曾我祐信と再婚し、兄弟の仇討ちを見届けた母は兄弟の霊を供養してきました。兄弟の七回忌に五十歳位で亡くなりました。別所梅林の中で昼食、皆揃ったの写真撮影をしました。

上野幸男 記



曾我の里 1 班集合写真



曾我の里 2 班集合写真



曾我の里 3 班集合写真

渡辺 親 撮影

青山通り大山道 二月二十四日 参加者五十一名

青山通ウォーク、今日は相鉄さがみ野駅から出発です。東京赤坂御門から伊勢原までの大山街道青山道は、江戸時代の脇往還の一つである矢倉沢往還とは名こそ異なりますが、共通の同じ道で、江戸からの大山詣りの人々が行き交うメインルートでした。しばらく歩くと不動明王の道標のある赤坂という場所の中継点にきました。ここで少しコースを外れ「綾瀬村小園」方面に向かい、旧東海道と言われている道を歩き、お伊勢の宮の子の社や、江戸期寺子屋だったという地藏堂へも立ち寄りました。

又、渡辺華山の話に出ている所があると聞き教えてもらうことに。華山は田原藩の家老でもあり、文人画家、学者としても知られています。藩主の子を産んだ侍女のお銀さんという人に少年期世話になり、あこがれのお銀様の消息を探す旅に出たという話が「游相日記」として残っているそう、私達も華山に倣って歩き、江戸から戻ったお銀さんの住居、生家、墓をたどりました。そして再び青山道に戻り用水堀りを作った目久尻川の史跡逆川の碑を確認し、今日の終盤である旧跡として有名な相模国国分寺跡を見学、海老名のシンボル、ミニ七重塔へ到着しました。

青山道、国分寺跡にての集合写真



渡辺 親 撮影

原沢 久 記

第12期・観光ガイド養成講座修了式 英語ガイド13人、一般観光ガイド6人修了

3月12日午後伊勢原市中央公民館3階会議室Aで第12期いせはら観光ガイド養成講座、一般観光ガイド講座と英語ガイド講座の修了式が開催されました。司会を務める本明副会長、島海増雄会長の「長丁場の講座ご苦労様」と「修了おめでとう」、また市の小巻泰之係長が祝辞を述べ、全員記念の撮影を行いました。

第2部では記念講演として成蹊大学名誉教授近藤蕉肝先生の「心敬と太田道灌」についての講演がありました。伊勢原に居た人で世界に発する有名人2人として「心敬と道灌」を上げて紹介し、詳しい説明がありました。受講生と出席者は心敬について総合的で基本的な話は今回が初めてです。で、レジメを見ながらペンを走らせていました。大変参考になりました。

式典後の親しい懇談会。受講生は講座ごとに分かれて、講座の感想や今後のこと、また観ボラなどについて和やかに話し合いを行ないました。

三上実行委員長談

英語講座は13人の修了生を輩出できたことは良かったと思います。4月から大山インフォメーションで外人相手に複数で協力する活動が年間約50日もあるので心強いです。一般観



第12期観光ガイド養成講座修了式

光ガイド講座は6人の修了生です。ガイド内容に魅力のある自然、史跡、文化など豊富な伊勢原市内外の人に道案内をする活動は健康長寿時代の栄養源ですから、勇躍して活動参加してほしいです。

伊勢原市山王中学一年生
課外授業で学校周辺をウォーク案内

恒例ですが、この時期一年生全員を案内していますが、今年は3月17日に行われました。観ボラから10数人の役員が参加して案内をしました。

大山豆腐まつり
観ボラが協力して振る舞い

春を呼ぶ大山豆腐まつりが3月18、19日大山第2駐車場で開催されました。観ボラは20年前から約20人が参加して、豆腐を切り、大山菜を切り、約3千人余の顧客への仙人鍋の豆腐の振る舞いを手伝いました。仙人姿の修験者が豆腐に「エイエイオー」と気を入れるなど盛り上がりしました。

大河ドラマの署名は
28万8115筆

この間、伊勢原では多くの行事が開始されています。新年会、いきいきシア祭り、中央公民館祭り、甲冑づくり展示会、観ボラ役員等の活動もありました。



養成講座修学旅行 厚木博物館

「伊勢原市にも博物館が欲しい」の感想
厚木市博物館でガイド講座の修学旅行

3月1日、市のバスで第12期養成講座生の修学旅行が実施され22人が参加しました。新装になった厚木市の博物館へ、博物館では大野学芸員が詳しく、厚木の成り立ちや相模人形芝居など説明してくれました。参加者は、感想として「歴史や史跡の伊勢原でも博物館が欲しいよなあ」と話が盛り上がりしました。(かつて観ボラは堀江市長、長塚市長さんに博物館を建設するよう市に要望書を2回提出しています。財政ができたらやると回答有り、三上説明)

第18期いせはら市民大学修了式
3月11日58人が修了しました。

伊勢原市中央公民館でいせはら市民大学の修了式が実施されて史上2番目に多い58人が修了しました。会長挨拶のあと修了書が各班代表者に手渡され、市の山内温子社会教育課長から祝辞を頂戴し、全員が記念撮影をしました。

記念講演は、東海大学名誉教授逢坂伸一さんが「ボランティア活動の重要性」と題して講演がありました。そのあと、7班に分かれて和やかに懇談会を行い、アンケートを各自提出して(45人)この日数人が加入届けを提出して講座の成功を確認しました。

第26回観ボラ総会5月31日・1時半より
伊勢原市中央公民館3階会議室A

議題は経過報告、運動方針、会計報告、監査報告、役員選出です。出席者は会費納入をお願いします。出席者には観ボラ25周年記念誌が贈呈されます。詳細は追ってお知らせします。

「観ボラ25周年記念誌が完成！」

観ボラ 副会長 前田秀資

今回は予定していた内容を変更し”臨時ニュース”をお伝えしたいと思えます。いせはら観光ボランティアガイド&ウオーク協会・鳥海増雄会長は設立25周年を迎えました。その記念誌が3月10日(金)に完成しました。

体裁はA4版・30ページ・オールカラー。表紙は観ボラ3代目会長の篠原啓介さんが描いた幹の太い大木。当観ボラのイメージカラーである緑の葉が力強く繁っています。篠原さんによると、育つてゆくカンボラの様子を表現したそうです。

記念誌の発行は、昨秋に決まり、実行委員会を設けて進められました。記載されている内容は「いせはら観ボラの歴史と実績の概要」をはじめ、関係各位のメッセージ。さらに、一般の方に参加を呼びかける目的で「企画ウオーク事業内容紹介」などが盛り込まれています。

発行部数は千冊。市内外に配布し、観ボラ活動の発信に役立てます。

※費用は、各団体・神社・寺院・企業の皆さんにご協賛いただきました。感謝いたします。

伊勢原川柳会(ひね朗会) 3月期 いせはら市民大学サークル

テーマ「鬼」

戦争が敵も味方も鬼にする
沼津港から揚げうまい鬼かき
鬼さんは手のなる方へ浮き様に

康雄

岸田さん鬼の空念仏嘘ばかり
鬼退治むかしはなしは今ほダメ
歳の数食べると言うがもうダメだ

このみま

鬼は外豆は年数食べ切れぬ

鬼嫁の成れ果ては鬼姑

誰にでも心の中で1匹は

黒猫ジジ

鬼婆も認知に勝てず棘がとれ
されいだが棘が刺さるよ鬼アザミ
少年時戦争ごっこ餓鬼の群れ

栄泉

「自由句」

川柳は捻るというが回らない
石の上にコロナ3年経ちました
何処からもわが大山は見てくれる

このみま

ピンポンと打ち合う音で仲間増え
席を立ちくしゃみ鼻水春寒し
干しきのこ切干しだいこん天日干

康雄

飼い主も猫も老化でこ同輩

この季節ひねもすクシャミ鼻水で
やってきた鼻水涙のシーズンが

黒猫ジジ

バイデンに肩を抱かれて爆買いす
177歳ボケ漫才で日が暮れる
観ボラの四半世紀褒めてやる

栄泉



観ボラ25年誌に感謝

観ボラ 幹事 三上利栄

あれから「25年」の観ボラの記念誌が完成しました。賛同者の協力でオールカラー、30ページの記念誌で、参考になる内容です。会員と希望される方は来る5月31日午後1時半から中央公民館3階会議室Aで行われる第26回総会にご出席ください。差上げられます。記念誌の中で、祝辞は、伊勢原市長、観光協会会長、商工会長、大山豆腐まつり実行委員長、地元歌手小倉恵子さんのほか、仲間たちが原稿を寄せてくれて、過分の評価を頂戴しています。

観ボラの恩師の端山清さんは「観ボラは自立と先見、連携、柔軟にあると思う」「大勢の会員を擁し、あくまで対等、さまざまなグループを作って市民協働事業の最初に取り組んだ先導的役割」と評しています。

また道灌の末裔の太田資暁さんは「大河ドラマに夢を持って活動」と、道灌研究家の尾崎孝さんは、「伊勢原に山吹の里と道灌記念館がほしい」と提言、「歴史自然史跡いっぱいの大山・伊勢原を健康・観光の拠点として、住んで良かった故郷とするために、次の30年50年に向かって市民活動・ボランティア活動を展開していきたいものです」。

観ボラは若い人にも高齢者にも「希望の星」となるように鋭意努めていきたいものです。

私は幸せにも結成に参加し、25周年に節目に接し、今なお、生涯現役、創造と挑戦の姿勢と態度をもって意気高く活動していきたいと望んでいます。長寿健康時代、人間の理想に向かって邁進して行きましよう。25年誌はその栄養剤になると確信します。

定年後暇つぶし ボラ四半世紀
卒寿来て指折り数える120歳

2023年4月～6月 スケジュール

行事	実施日・予定時刻	難易度	距離	会費	主なコース
・千村の八重桜と花の頭高山ハイク 豪華な八重桜、チューリップ、丹沢山系 大山の展望を楽しめます。 *アップダウンあります。	四月十日(月) 集合 渋沢駅改札口 九時 解散 渋沢駅 十四時頃	★★★	約8km	400円	渋沢駅→國樂稻荷神社→千村八重桜→泉蔵寺(チューリップ)→白山神社→頭高山(昼食休憩)→大山、丹沢眺望→渋沢神社→渋沢駅
・三宮例祭 六七二年に端を発する三宮祭り 勇ましい掛け声の神輿、三基の山車巡行も必見。 *アップダウンあります。 昼食時敷物用意	四月二十二日(土) 集合 伊勢原駅北口 十四時 解散 比々多神社 十六時頃	★	約1km	400円	伊勢原北口からバス→神戸バス停下車→三宮参道→比々多神社(三宮祭り)
・あつぎつつじの丘公園と七沢森林公園 森林浴を楽しみながら、色鮮やかなつつじに会いに行きましょう。 *アップダウンあります。 昼食時敷物用意	四月二十八日(金) 集合 愛甲石田駅北口 九時 解散 七沢森林公園 十四時頃	★★	約5km	400円	愛甲石田駅北口からバス→森の里五丁目下車→あつぎつつじの丘公園→県立七沢森林公園(昼食、散策)
・国府祭(こうのまち) 一三〇〇年余の伝統を持つ国府祭り 座問答と相模一番の大祭を楽しめます。	五月五日(金) 集合 JR大磯駅前 九時 解散 大磯プリンスホテル入口前バス停 十四時三十分頃	★★	約2.5km	400円	大磯駅からバス→大磯プリンスホテルバス停→馬場公園→三宮神社登り口→神揃山祭場(見学)→馬場公園(昼食、見物)→大磯プリンスホテルバス停
・青山道 第6回 海老名→本厚木 青山道もいよいよ相模川越え。厚木の渡し場、峠山が宿舎した「万年屋」跡、烏山藩厚木陣屋跡等、江戸時代に栄えた厚木へ。	五月十七日(水) 集合 海老名駅海老名中央公園 七重塔前 九時三十分 解散 本厚木駅 十三時頃	★★	約6km	400円	海老名駅七重塔前→有鹿神社→あゆみ橋→渡船場→厚木神社→万年屋跡→本厚木駅 *小雨決行、昼食休憩はありません。
・秦野湧水めぐり 豊かな丹沢の山々が育んだ秦野の湧水、駅周辺の緑のスポットを散策しましょう。	六月七日(水) 集合 秦野駅改札口 九時三十分 解散 秦野駅 十四時頃	★★	約5km	400円	詳細は次号

*コースは変更になる場合があります。ご了承ください。降雨率40%以上は中止です。

★ 初心者向けコース ★★ 一般向けコース ★★★ 健脚コース
★★★★ 長距離・健脚コース ★★★★★ 同左(大山山頂クラス 杖必要)

コース内容、雨天時の時の問い合わせは下記までお願いします。
電話・fax (0463) 94-6188 (事務所・鳥海まで、17時以降に願います)

★事務局からのお知らせ
※コロナ対策のお願い
①ご参加の朝ご自宅で体温を測り、三七・五度C以上や体調が悪い場合はご参加をご遠慮下さい。
②マスクの着用は個人の判断とします。

*掲載行事は予約なしでも参加できます。
参加当日、集合場所にて受け付けます。
*持ち物と服装

持ち物：弁当(昼食休憩の記載があるコース)、雨具、飲料水、タオル等。健康保険証、レジャーシート、ウォークに適した服装。

*参加費は四〇〇円(当日支払いとなります)
*会員募集中! 入会金無料、年会費一、二〇〇円
*年会費受付中・三月末までにお願います。
*会員の方は会員証をご持参ください。
*令和5年総会開催 五月三十一日(土)

中央公民館 十三時半より